

# 支援機器相談シート

相談日 2021年 7月 2日

高等部 生徒1

相談内容

- ・名詞が表出できるように携帯アプリ「ドロップトーク」を練習していますが、高次脳機能障害の症状によりスムーズに活用できていません。
- ・カテゴリー、単語が多くなると必要な言葉の選択に時間を要します。
- ・「ドロップトーク」の促しが必要なときがあります。
- ・操作することが少し面倒な様子が見られます。

失語症の名詞表出困難な方が他者とコミュニケーションをとるうえで、失語症の方が使いやすい福祉用具機器がありましたら教えて頂きたいです。また、本人が自宅や学校で名詞想起の練習ができるように「エスコアール」から出ておりますアプリを検討中ですが、他メーカーで自主練習が行える機器がありましたら、併せてご紹介をお願いいたします。

来春から交通機関での通学が必要となるため、時間の管理、目的地までの経路など自己管理が必要です。携帯などを利用しながら今後の生活内容が拡大していければと考えております。ご指導のほどよろしく申し上げます。

相談結果

○今困っていること  
「Drop talk」のアプリについて

①単語を思い出せないとき、単語帳のように使っているが、文字だけしか入らないので選ぶのが難しい。もっと早く見つけられる方法はないか？イラストがある「えこみゆ」というアプリの紹介もうけたが、使いこなせない。  
→「えこみゆ」も「Drop talk」も同じことができる。

外出先、コンビニ、飲み物(コーラ、お茶…)など、生活場面ごとに分類するとよい。50音順だと探しにくい。本人のもっとも選びやすい分類にする必要がある。使用頻度の高い言葉は上のほうにあるほうがよい。STの先生と相談して分類を行い、情報を共有するとよい。並び替える工夫をするとよい。



えこみゆ

絵カード使用例→



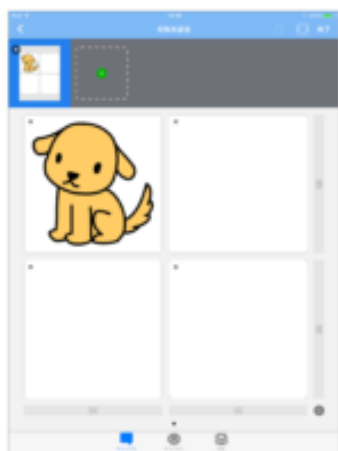


・「えこみゆ」はシンボルで文章を作っていくものである。

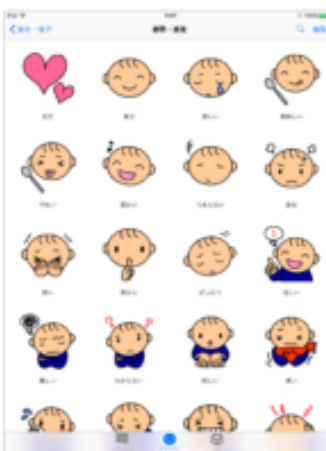
【例】 私 + き の う + コンビニ + いった



### Drop talk



### 絵カード使用例



②「Drop talk」の機能としていつ何を使ったか、よく使う言葉やよく調べたページなどがログ機能でわかるようになっていいる。その言葉を上に出るように並び替えることで、生活の流れがわかってくる。

設定→「ログを記録する」ON→ログの記録が開始され、「Drop talk」の使用状況を知ることができる。シンボルとキャンバスについての使用状況が記録される。

「Drop talk」のよさは記録がとれるところ、スケジュールもできてアラームも鳴る。いろいろなアプリを使い分けなくてもよい利点がある。

編集→編集したいボタンを押すと文字やシンボル、写真も自分用に変えられ、選びやすくなる。



③リレーションとって、一つの画面の中に矢印のボタンを作ることができる。それを使うと入っ一つでどんどん深く奥に入っていく。(イラスト、シンボル入り、一つ押すとどんどん開いていくキャンパスリンクはフルバージョンになりお金がかかる。) Basic を使いこなしていったらよい。

④「えこみゆ」は、コミュニケーションツール用、訓練としてのアプリは「声トラ」を紹介してもらったが、他に何かアプリはないか？

→シマダ製作所「言語くん」、コミュニハ(コミュニケーションリハビリ)、株式会社イントロム「ハナセル」

Drop talk 参考: <http://droptalk.hmdt.jp/>

コミュニハ参考: <https://eastpons.com/>

ハナセル参考: <https://introm.jp/lp-v3/>

言語くん参考: <https://eastpons.com/>

⑤「トーキングエイド」を市役所からもらったが、使いこなせない。必要か？  
 →「Drop talk」の方がよい。「トーキングエイド」は文章を作るときに使うとよい。使い分け  
 していくとよい。自分のペースでゆっくりまとまった時間があるときには、トーキングエイド  
 を使って思いを伝えるのもよい。  
 スマホの音読機能を使っていて、トーキングエイドよりも使いやすい。→そちらでもよい。



トーキングエイド



平仮名、片仮名、英数キーパーソンを利用して  
 文章を作成し、合成音声で発声させる。



よく使う語句や急ぎのコメントはメッセージ  
 に作成したメッセージをメールで送信できる。

カテゴリとして登録しておく、すぐに呼び  
 出せる。

○言語の IQ

人が言っている言葉を理解するのに耳から聞く、文字に起こしてもらったほうがよいかなど  
 生活するのに何か合わせ技はあるか？

→耳から困ったことはない。わかりやすい方法でこちらから伝えていくともっと生活が広がっ  
 ていく。

※生活も様子が変わったとき、これから困ったことが出てくるたび、訪問や ST と相談してい  
 く必要あり。